

米国日本生命、ウェルネス新商品を発表 プリンシパル・ウェルネス社との提携で実現

ニューヨークー2010年5月11日ー本日、企業向け団体健康保険を取り扱う米国日本生命は、従業員が率先して健康管理に取り組み、雇用主が医療コストをよりコントロールできるように、包括的なウェルネス・プログラムの提供開始を発表しました。

米国日本生命の新ウェルネス・プログラム『Employer Wellness Solution』は、健康リスクが低い従業員には健康維持増進を、また、健康リスクが高めの従業員には健康管理への取り組みを働きかけるようにデザインされています。小規模から大規模の企業を対象に、オンサイト健診、ヘルスコーチ、従業員の健康状態を測定する健康アセスメント（評価）や、在宅勤務者向け自宅検査キットなど幅広いサービスが用意されています。

「米国日本生命の『Employer Wellness Solution』は、職場における健康に対する意識づくりを効果的、シンプル、そしてお求め安い価格でお客様にお届けします。雇用主と従業員が共に健康管理に取り組めるようにデザインされたプログラムは、革新的で使いやすいツールと様々なウェルネス・サービスを取り揃えており、従業員の方の健康増進と、結果的にお客様の医療費の削減にお役に立てると確信しています。」と最高経営責任者兼社長の中島俊浩氏は述べています。

サービスを利用する企業とメンバーは、ツールやフォームの他、健康と栄養に関する情報等をオンラインで入手することが可能です。このプログラムに関する質問は、米国日本生命の日本語・韓国語カスタマーサービスでも受け付けています。

『Employer Wellness Solution』は、米国日本生命が提供する団体健康保険商品の一部です。米国日本生命は、団体医療保険、生命保険、歯科保険、所得補償保険、視力矯正保険、処方箋薬給付等の商品を取り扱っています。

『Employer Wellness Solution』は、プリンシパル・ファイナンシャル・グループのグループ会社であるプリンシパル・ウェルネス社との提携で提供されます。プリンシパル・ウェルネス社は、17年以上前から全米各地の企業向けにウェルネス・プログラムを提供しています。『Employer Wellness Solution』のサービスのすべてを、プリンシパル・ウェルネス社が管理します。

最高執行責任者のジェリー・パターソン氏は、「私ども米国日本生命は、企業様が市場でさらに効果的に競争できるような革新的なプログラムのご提供にコミットしています。『Employer Wellness Solution』は、欠勤日数や傷害保険請求の減少、

また、業務遂行能力の向上や仕事の生産性の改善により、お客様のビジネス・コストの削減を可能とするワールド・クラスのプログラムです。」と述べています。

米国日本生命は、世界最大の生命保険相互会社である日本生命保険の米国保険現地法人です。米国日本生命は、AM Best社による2009年の財務力格付けで「A-(Excellent)」に格付けされています。

米国日本生命が提供するウェルネス・プログラム及びその他の商品に関する詳細は、ウェブサイト www.nipponlifebenefits.com をご覧ください。見積もりを希望の保険代理店の方は、米国日本生命のウェブサイト <http://www.nipponlifebenefits.com/brokers.asp> のフォームに記入後、米国日本生命宛にご送付下さい。

米国日本生命について

米国日本生命は、従業員を尊重し大切にしている企業に対し、クオリティの高い従業員向け団体保険を提供しています。米国日本生命は、団体医療保険、生命保険、歯科保険、所得補償保険、視力矯正保険、ウェルネス、処方箋薬給付等の商品を取り扱いしています。創業から20年、ニューヨークに本部機能を置く米国日本生命は、ニューヨーク、アトランタ、シカゴ、ロサンゼルス各営業拠点から、全米を広くカバーしています。更に詳細な情報については、1-800-937-6542にお電話、または、ウェブサイト <http://www.nipponlifebenefits.com> をご覧ください。

本プレスリリースの公式バージョンはオリジナル言語版（英語版）です。翻訳言語版（日本語版）は、読者の便宜を図る目的で提供されたものであり、法的効力を持ちません。翻訳言語版を資料としてご利用になる際には、法的効力を有する唯一のバージョンであるオリジナル言語版と照らし合わせて頂くようお願い致します。

###